

北部九州地域への来訪促進戦略(広域的観光活性化)

計画の概要

九州新幹線の全線開業（H23.3）に加え、東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC H28年春開通目標）の開通を契機に、九州道、大分道、東九州道の広域観光周遊ルートが形成され、移動の効率化が進み、全国各地から北部九州地域（福岡県、大分県）への観光客の増加が期待される。

また、海外からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・新幹線駅・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。



凡 例
 ● 拠点施設
 ■ 基幹事業



1. 太宰府天満宮



4. 別府温泉



5. 昭和の町



6. うみたまご

計画期間 平成27年度～平成31年度

1. 計画の目標
 北部九州地域における広域的な観光活性化

2. 目標を定量化する主な指標
 延べ宿泊者数の増加
 H25 2,069万人 → H31 2,317万人 (248万人増)

3. 主な事業
 観光拠点へのアクセス向上のための道路整備・港湾整備
 観光拠点と一体となって親水性を高める河川整備



2. 嘉穂劇場



3. 水郷柳川



7. 由布院温泉